

2014年度 JCV 支援レポート



今年3月に強力なサイクロンの被害に遭い、生活インフラが破壊されてしまったバヌアツ共和国。
昨年11月に訪問した時には、元気な子どもたちが迎えてくれました。

ミャンマー連邦共和国



2014年で支援開始から19年目を迎えたミャンマーは、民主化が進むにつれて保健医療についても政府の予算が徐々に割り当てられるようになり、国内のワクチン接種への意識も高まってきました。しかしながら、コールドチェーンの中核を担う保冷庫の耐用年数が過ぎているなど、まだまだ問題があります。保健省は、まずはこのコールドチェーンについての支援から徐々に自立できるよう取り組みを始めたため、2015年度向け支援は経口ポリオワクチンに特化しました。

【支援内容(2015年向け)】 約4,767万円
■ワクチン：経口ポリオ 809,033人分(3回接種)

ラオス人民民主共和国



2013年度にはワクチン接種率82%を達成したラオスですが、農村部、特に山岳地帯ではインフラ整備がまだまだ遅れています。多くの場合、ワクチン接種もアウトリーチ(出張接種)サービスで行なわれているため運営経費がかさみます。そこで2015年度は、ラオス全土に必要な在来ワクチンの大部分を皆さまの支援で贈り、保健省はコールドチェーンの充実やアウトリーチサービスの確実な実施に取り組めます。

【支援内容(2015年向け)】 約2,147万円
■ワクチン：BCG 200,000人分、MR(はしか/風疹) 50,000人分、TD(破傷風/ジフテリア) 50,000人分、経口ポリオ33,333人分
■コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス(使用済み注射器回収箱)

ブータン王国



豊かさを国民総幸福量(GNH)で量るブータンは「幸せの国」と表現され、徒歩でしか行くことができないヒマラヤ山脈に近い地域に住む子どもたちにも、ワクチンを確実に接種しています。しかし、産業がまだまだ少なく、医療も外国からの支援に頼らざるをえない状況です。さらに2015年をもって他国の大規模な支援が終了することもあり、引き続き支援者の皆さまのお力が必要とされています。

【支援内容(2014年および2015年向け)】 約4,155万円
■ワクチン：BCG 274,000人分、経口ポリオ60,500人分、DPT(ジフテリア/百日咳/破傷風)84,000人分、MR(はしか/風疹) 96,000人分、TD(破傷風/ジフテリア) 33,250人分、B型肝炎52,000人分
■コールドチェーンなど：アイスライン保冷庫6台、電気・ケロシン併用保冷庫22台、直接運転式ソーラー保冷庫3台、コールドボックス10個、注射器、セーフティボックス(使用済み注射器回収箱)

バヌアツ共和国



南太平洋の島嶼国バヌアツへの五価ワクチン支援は、2014 年を 5 年支援計画最終年とし、2015 年から政府が自力で購入する予定でした。しかし、バヌアツではこれまで接種を行ってこなかった他の在来ワクチン接種も始めることになり、予算不足になることから、JCV は引き続き五価ワクチンの支援を継続することになりました。また、特にこの国では子どもたちの両親のワクチンへの理解度が低いことからその教育への支援も行ないます。

先月、バヌアツ共和国は強力なサイクロンに襲われました。現地 UNICEF からの情報では、皆さまにご支援いただいた保冷庫やソーラーシステムなどのワクチン関連機器にも被害がでていようようです。2015 年度のバヌアツへの支援に関しては、例年に比べて、かなり大きな支援要請が現地政府から届くことが予想されます。すでに MR(はしか/風疹) ワクチンの支援要請の打診も受けており、JCV ではサイクロン被災支援募金を募る予定です。

【支援内容(2015年向け)】 約2,263万円

■ワクチン: 五価(ジフテリア/百日咳/破傷風/B型肝炎/髄膜炎桿菌b型(Hib)による細菌性髄膜炎)11,254人分

■コールドチェーンなど: 出張ワクチン接種、両親への啓発教育、注射器、セーフティボックス(使用済み注射器回収箱)

ポリオ撲滅緊急支援募金 ご報告



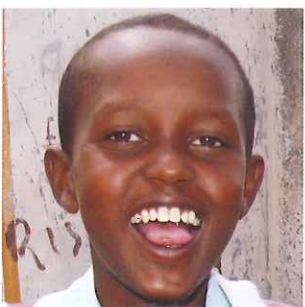
ポリオ撲滅緊急支援に多大なるご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。この募金は、昨年 5 月に WHO (世界保健機関) が発表したポリオ緊急事態宣言に呼応し、呼びかけさせていただきました。

皆さまのご支援で、2013 年にポリオが再発症したソマリアと、ウイルスの常在国のひとつでポリオの発症数が 2013 年に比べて増加したパキスタンの子どもたちに、総額 18,655,586 円のポリオワクチン接種支援を行うことができました。

ポリオ撲滅には多くの課題が残されており、継続的な支援が必要です。今後もポリオ撲滅とともに、感染症で亡くなる子どもたちの命を救うために活動を継続して参ります。

★ ソマリア (* ソマリア連邦共和国、ソマリランド共和国、プントランド・ソマリア国)

*ソマリランド共和国とプントランド・ソマリア国は独立宣言を行っていますが、いずれも国際承認は得られていません。



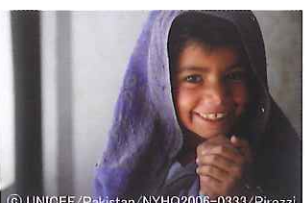
アフリカの角と呼ばれるこの国は、長く続いた内戦で元のソマリア連邦共和国と独立を宣言した北西部のソマリランド共和国、北東部のプントランド・ソマリア国の 3 地域に事実上分割されています。

ソマリアでは他国から持ち込まれたポリオウイルスの野生株が広まっている地域があり、一人あたりのポリオワクチン接種回数を増やして効果を高める策がとられています。全国一斉接種に加え、地域での状況に合わせた追加接種を行っているため、現在のソマリアでは大量のポリオワクチンが必要です。皆さまのご支援は 30 万回分という非常に大きいものとなりました。

【支援内容(ポリオワクチン接種キャンペーン向け)】 約588万円

■ワクチン: 経口ポリオ299,840回分

パキスタン・イスラム共和国



ポリオウイルスの常在国として残った 3 カ国 (アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア) のひとつであるパキスタンは、ポリオの発症数が 2013 年に比べて増加していました。その原因として、事実上、中央政府の権力が及ばない連邦直轄部族地域でのワクチン接種に対する理解不足や、コールドチェーンの未整備などが指摘されています。そこで 2015 年度、皆さまのご支援により連邦直轄部族地域の中でも、特にワクチン接種環境の整備が求められている北ワジリスタン地域へ、ワクチンの保管・運搬に必要な不可欠なソーラー保冷庫、発電機、ワクチンキャリアーなどのコールドチェーン関連機器を贈ります。

© UNICEF/Pakistan/NYHQ2006-0333/Pirazzi